

ミラノ通信



Vol.17

撮影/上田宏

デダロ・ミノッセ2007/2008国際建築賞

文/上田敦子(ASI文化事業部 ASIミラノ支局)

ホロコースト記念館
 広島県福山市御幸町中津原 815
 Tel/Fax: 084-955-8001
 開館日: 火曜~土曜 10:30 ~ 16:30
 入場無料 (日曜・月曜・祝日休館)

去る5月30日、第7回デダロ・ミノッセ国際建築賞の授賞式が、ヴィツェンツァ市オリンピコ劇場にて開催された。ヴィツェンツァ市は建築家パラーディオの建築物が多く存在することで有名な街である。

今回36カ国547作品の応募の中から、ASJ登録建築家の前田圭介氏が栄えある「デダロ・ミノッセ国際建築賞・40歳未満の部」、窪田勝文氏が「審査員特別賞」を受賞された。この賞は、優れた建築物の実現には、その発注者の存在が不可欠である、という考えのもと、設計者と共にクライアントも表彰される。

前田氏の受賞作品「ホロコースト記念館」は、子供達がホロコーストについて学べる場所。ホロコーストを通して平和を学んで欲しいというクライアントの願いに、希望を感じる光をふんだんに取り込んだ設計で前田氏が答えたものである。再現されたアンネ・フランクの部屋があるなど、親子では是非訪

れていただきたい場所である。

一方、窪田氏の作品は横須賀に建つ個人邸「T-HOUSE」。急斜面の高低差を魅力に変え、詳細な部分まで研ぎ澄まされたデザインはまさしく窪田ワールドである。

授賞式ではリチャード・マイヤー、マリオ・ボッタ、ザハ・ハディットという豪華な建築家の名前が連なり、オペラの夕べと共に閉幕となった。これら受賞作品の展示会は同市のパラッツォ・ヴァルマラーナ・ブラーガにて8月24日まで開催された。

受賞者紹介

- ◆デダロ・ミノッセ国際建築賞
 リチャード・マイヤー、作品「イェゾーロ・リド・ヴィレージ」(ヴェネチア)
- ◆デダロ・ミノッセ国際建築賞・40歳未満の部
 前田圭介、作品「ホロコースト記念館」(広島県福山市)
- ◆ALA建築協会賞
 グイド・カナーリ、作品「SMEG社新オフィス」(サン・ジローラモ・ディ・グアスタッラ)
- ◆ALA建築協会賞・40歳未満の部
 セルジョ・ピアンキ、作品「デ・リズィの家」(ローマ)
- ◆10周年功労賞
 マリオ・ボッタ、作品「サント・ヴォルト教会」(トリノ)

*窪田氏の作品「T-HOUSE」はカザベラ767号に掲載。



1. 授賞式にて、ALA建築協会会長ブルーノ・ガッビアーニ氏の挨拶(右は審査員の方々)
 2. 前田圭介氏
 3. 窪田勝文氏

copyright:ALA Assoarchitetti



アーキテツ・スタジオ・ジャパンは日本の枠を超えて、海外で活躍中の建築家、デザイナー、アーティストにも、そのネットワークを広げています。